

発見!

# 牛久のお宝

問 文化芸術課(牛久シャトー内) ☎874-3121

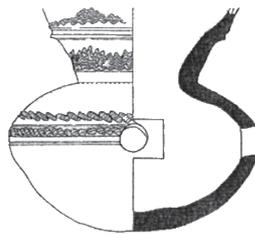
## 第20回 穴のあいた土器

—ヤツノ上遺跡(ひたち野東5丁目)—



甕

開発が進むひたち野うしく駅周辺には、数多くの遺跡が確認されています。そのひとつであるヤツノ上遺跡は、平成2～4年に土地区画整理事業に伴う発掘調査が行われ、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代の集落跡が見つかりました。古墳時代中期(5世紀)の住居跡からは、須恵器の甕という土器が発見されています。口の部分は欠けていますが、胴の部分は扁平な球状で、中に直径約1cmの穴があります。甕の使用方法



(高さ約10cm)

についてはいろいろな説がありますが、静岡県で発見された女性埴輪が捧げ持つ甕の胴の部分に棒状の突起が伸びていることから、穴に細い竹などを差して注ぎ口に使っていたと思われる。甕は酒などの液体を入れて、祭祀を行う際に使われたと考えられます。

# 里山の樹木

問 都市計画課 ☎内線2524

## 文芸さろん | 水無月 |

### 第54回 ノイバラ



開花期の樹形(①)および花(②):刈谷町5丁目西側斜面林下(平成24年5月23日撮影)  
③果実:刈谷町5丁目西側斜面林下(平成23年11月19日)

北海道西南部～九州に分布するバラ科の高さ2m内外の落葉低木。牛久は斜面林下部や川岸の藪などに生えています。樹皮は明緑色で後に褐色をおび、枝には棘があります。

ふたひらの雲のゆくへや柿若葉	高階さん
合掌の僧との会釈著莪の花	涼
新緑の山はうねってチアガール	荻椿
笑いとばして山滴るや	宮崎さん
コロナ禍に蝶ひとひらの通学路	わだちゃん
若葉萌え木々も生き生き風受けて	富美子
初夏の風景朝の一時	静枝
夏に入る医療の方に感謝して	一朶
ノートに挿む一枚の柿若葉	
町中の茶店に香る新茶かな	

### 〈次回募集テーマは「夏」〉

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など  
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1  
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512  
[kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp]  
【記載事項】作品、氏名、電話番号  
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



※掲載作品は担当課にて審査の上、決定します。投稿いただいた作品が必ず掲載されるわけではありません。

葉は小葉7～9枚よりなる奇数羽状複葉で、縁に鋸歯があります。開花期は5～6月。枝先に径2cmほどの可憐な白い花写真②を円錐花序に多数つけ、ほのかな香りを漂わせます。秋に長さ約7mmの赤い球状の果実(写真③)を実らせませす。草原などに自生している葉に光沢があるテリハノイバラとともに、房咲きや、蔓性バラの品種改良の親として知られています。別名がノバラ。くバラの意味です。別名がノバラ。※牛久の里山樹木ハンドブック46ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874-6600)まで。  
【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章:戸塚昌宏、写真:渡辺泰)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)